

日本から海外へ：

日本におけるデジタル化の活動をいかにして外国人研究者に伝えるか

第1グループ：マルタ・ボスコロ・マルチ、メレッテ・ピーターセン、グッド長橋広行

1-2. 謝意

JAL プロジェクト 2016 を通じて私達は、さまざまな研究機関による OPAC やデジタル・アーカイブスの構築・改善のための大きな努力について知ることができました。皆様のご活動に敬意を表したいと思います。

日本における高度なデジタル化の技術、充実したデータベースの数々は非常に素晴らしいものがあります。今回の例で言えば、東京国立博物館の情報アーカイブ、立命館大学アート・リサーチセンターの浮世絵検索閲覧システム、国際日本文化研究センターで公開されているさまざまなデータベースなどがあります。これらの情報リソースの重要性を海外に伝えていくための議論に参加できることを光栄に思います。というのも、我々の国の中には、いまだに十分な資料のデジタル化を実践できていないところも多いからです。

我々のグループは二人の司書と一人の美術史研究家で構成されています。そのため我々のニーズは必ずしも一致してはいませんが、全員がそれぞれの研究を行っていることに変わりはなく、その研究を進める上で、皆様のデータベースが将来非常に有効となることは間違いありません。今回学んだことを生徒や他の研究者たちにも是非伝えていきたいと考えています。

3. 検索のスタート・ポイント

さて、普段我々は調べ物をする時にグーグルを使います。そのため、グーグルを通じて研究機関のデータベースにたどり着けるかどうかは非常に重要な問題であると考えます。これまでさまざまなデータベースをご紹介いただきました。ただ残念ながら、日本語以外でのグーグルからのアクセスが困難なものもありました。

4. 研究者にデータベースを見つけてもらうためには

我々が言うグーグル検索とは、主に英語ないしはローマ字を用いて行われるものを指します。つまりこの限りでの日本のデータベースの可視性がまだまだ低いわけです。言語の問題は避けては通れません。世界の大半の人々は漢字を読むことができませんので、日本語以外でのアクセスが今以上に簡単にできるよ

うになることを望んでいます。この意味で、国文学研究資料館による英語あるいはローマ字での検索精度の向上やデータベースの多言語化は素晴らしい取り組みです。これは、国文研が現在進めている「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」の一環として行われています。また国文研では、画像データのタグ付けも進められており、非常に有益であると感じました。

5. 日本語を解さない研究者を支援するために

情報サービスの完全な英語化は難しいかもしれません。それでも英語による簡単なアブストラクトなどをメタデータに加えていただければ、少なくともその本や論文が何についてのものか、入手・ダウンロードして読む必要があるかどうか、本国で出版するに値するものかどうかの判断が可能となります。こうしたアブストラクトの存在は、日本文化や日本美術の研究者のみならず、その時々の研究や調査で日本語による資料にあたらなくてはなりません。日本語がまったく話せない研究者たちにとっても大きな助けとなります。

6. 有効な例

例として、英語によるタイトルや人名のローマ字表記がよくサポートされている国立情報学研究所提供の CiNii のようなデータベース・サービスの発展が望まれます。また先ほど述べた、画像のタグ付け（英語&ローマ字）も非常に有効です。

7. 現地調査の前準備が出来るようにするには

次に、データベースの利用のあり方について申し上げます。これまでのご案内いただいた研究機関のデータベースには、外部からアクセスできないものが多くありました。しかしその度に現地まで出向き閲覧室の端末を使用するのは、我々海外の研究者にとっては勿論、日本の研究者にとっても負担が大きいものです。著作権の問題、個々の文化財の所有者の意向などで、データの提供に制限がかかる場合にそうしたケースが出てくるわけですが、これは私達の国でも同様です。ですからこれらの画像の閲覧のみを制限し、メタデータだけでもアクセスできるようにすれば、仮に現地へ行く場合でも、調査のための準備をより

入念に行うことが可能となり、大幅な時間と費用の節約につながります。

8-10. 統合検索システム

統合検索システムのさらなる発展も重要な課題であります。

美術図書館連絡会 (ALC) による美術図書館横断検索システム、独立行政法人国立美術館の所蔵作品総合目録検索システム、e 国宝や文化遺産オンライン、そして国立国会図書館 (NDL) の国立国会図書館サーチ (NDL サーチ) のような、日本全国に散らばるさまざまなデータベースや OPAC を横断的に検索できるシステムが、すでに述べた言語や著作権の問題をクリアしつつこれからさらに発展していけば、とりわけ海外の研究者が、自分の欲しい資料がどこにあるのか効率よく調べることができます。

11. データベースのスタンダード化の重要性

また統合検索システムの発展は、比較的小規模の文化施設や研究機関が持っているコレクションやデータベースの可視性をこれまで以上に高め、その重要性を日本国内外に伝えることにもつながります。予算の関係上、自力で十分な情報発信ができないケースもまだまだ多く、貴重なはずの資料を埋没させてしまいかねません。こうした事態を防ぐためにも、主要なポータルサイトの守備範囲をより一層広げていくことが必要だと考えます。また、大小様々なデータベースがある中で、その使いやすさにばらつきが生じているという問題もこれから解消していく必要があると考えます。特に作品の形式や主題の分類の仕方などで微妙な言葉の違いなどがあると、日本語を十分に理解していない者にとって混乱が生じてしまうので、ある種のスタンダードを設け、データベースの質の確保と高いレベルでの均質化を行っていくことも重要です。そのための一つのステップとしては、ポータルサイトのデザインやインターフェースをできるだけシンプルかつ共通のものにすることが挙げられます。

12-13. 使いやすいデジタル・アーカイブのモデル

日本における各種データベースやポータルサイトの一層の充実を期待する一方で、普段我々西洋の研究者たちが比較的良好に利用するのが、例えばニューヨークのメトロポリタン美術館やロンドンの大英博物館によるデジタル・アーカイブスなどで、彼らが所蔵している日本関係のコレクションのデジタル資料が閲覧できます。対象となる作品や資料に関する情報は、当然ながら、日本のデータベー

スで用意された日本語のものとは比べまだまだ貧弱です。しかし現在は、日本語が読めない研究者のために公開されたデジタル・アーカイブの多くが海外発のものであり、国吉プロジェクト (Kuniyoshi Project, 6285 print images) や 歌川国貞プロジェクト (The Utagawa Kunisada Project, 6013 print images)、歌舞伎 21 (Kabuki21, <https://www.kabuki21.com/>) などは、浮世絵や錦絵、歌舞伎に関する版画を調査・研究する上で、多くの人々が活用しています。

浮世絵ドットオーグ (Ukiyo-e.org) なども非常に利用度の高いウェブサイトで、テキストによる検索はもとより、画像類似検索機能を用いた検索も可能となっています。日本からは江戸東京博物館や東京国立博物館、大学では早稲田大学演劇博物館や立命館大学、そして東京都立図書館などが浮世絵ドットオーグに参加し、所蔵資料へのリンクを提供しています。

14. 海外へのプロモートの方法

各種データベース、デジタル・アーカイブスの存在を海外に知らせるために、例えば国際博物館会議 (ICOM) での発表やワークショップの開催など、国際的なプラットフォームを通じて自国の活動を積極的に紹介していく取り組みがこれまで以上に必要になってくるでしょう。3年に一度の会議ですが、今回は2019年に京都で開かれます。日本関係の資料をどのように活用していくか。そのためのデータベースやデジタル・アーカイブスのあり方は、日本の専門家がかつともよく知るところであり、これを世界に伝えていくために、我々も協力を惜しみません。ICOMでのプロモーションは、いまだ包括的なコレクション・データベースを構築していない海外における日本関係の資料の所蔵機関が、日本での活動の詳細を知ることによって、より良い発信の機会を模索する良いきっかけとなるでしょう。

15. パーソナル・ネットワーク

以上、皆様のデータベースやデジタル・アーカイブをいかに海外の私たちに容易に使えるように工夫していただく提言をさせていただきましたが、最後にデジタルでなく、個人のネットワークの重要性を強調したいと思います。

16-17. AAS & CEAL

私が毎年参加しているアメリカのアジア学会には、すでにいくつかの日本の図書館や研究機関の方々が参加しています。国立国会図書館からは毎年2名の司書の方が参加し、東ア

アジア図書館評議会 (Council of East Asian Libraries, CEAL) や北米日本図書館資料調整協議会 (North American Coordinating Council on Japanese Library Resources, NCC) のセッションで、データベースや最新のサービスの動向などを紹介してくださいっています。国文学研究資料館の先生方も、アジア学会で「日本語の歴史的典籍データベース」のワークショップを研究者向けと司書向けに2回も開催してくださいました。また渋沢栄一記念財団情報資源センターのセンター長も毎年アジア学会に参加し、社史データベースなどを紹介してくださいっています。来年は展示場にブースを設置し、デジタル版の渋沢栄一伝記資料などを研究者に紹介するそうです。

みなさんもアメリカやヨーロッパ、オーストラリアの会議に参加して、データベースやデジタル・アーカイブを英語で紹介していただき、会議の後には美術館や図書館を訪問して、私たちの現場の状況を見てください。

いま紹介したアジア学会 Association of Asian Studies (AAS) の年次総会は、北米の日本研究の司書や研究者とネットワークを築くのに一番よい機会です。アジア学会は毎年3,000人以上の参加者と350以上のパネルセッションが開かれる北米最大のアジア学の会議です。

それに加え、東アジア図書館評議会 (Council of East Asian Libraries, CEAL) が2日間の会議をアジア学会の前に開きます。

今後3年間の会議の予定は、この通りです。

2017年 トロント、カナダ、CEAL: 3月14-15日、AAS: 3月16-19日

2018年 ワシントン D.C.、CEAL: 3月20-21日、AAS: 3月22-24日

2019年 デンバー、コロラド、CEAL: 3月19-20日、AAS: 3月21-24日

18. EAJRS

ヨーロッパでは日本資料専門家欧州協会 (EAJRS) が、日本研究の司書たちに会う一番よい機会でしょう。来年の会議はノルウェーのオスロで9月に開かれます。

19. EAJS

またヨーロッパでは欧州日本学会 (European Association for Japanese Studies, EAJS) という会議もあり、こちらは日本研究者たちが集う会議です。来年はポルトガルのリスボンで8月30日から9月2日まで開かれます。

20. JSAA

豪州日本研究学会 (Japanese Studies Association of Australia) は2年に1回会議を開いています。次の会議は来年の6月26日から30日まで、ニューサウスウェールズ州のウーロンゴン大学で開かれます。

21. 参加手続きをお手伝いします

みなさんもこうした会議に参加し、ワークショップを開かれるご希望があれば、私たちが喜んでお手伝いいたします。アジア学会でしたら、私もワークショップやパネルを開いた経験がありますから、申請書の作成からお手伝いいたします。2017年のAASはワークショップなどの申請は締め切られていますが、CEALのセッションで発表するのはまだ可能です。私がCEALの日本資料委員会にご紹介します。2018年のAASはワシントンD.C.での開催ですから、会議参加後にスミソニアン博物館を見学することもできます。

こうした活動が日本と海外の美術資料に携わる私たちのネットワークを築き、みなさんの情報発信の強いサポートになると確信します。

ご静聴ありがとうございました。

JAL Project 2016

日本から海外へ
日本におけるデジタル化資料を
いかにして外国人に伝えるか
From Japan to abroad
How to help *gaikokujin* researchers get to know Japanese
digitalization projects

メレット・ピーターセン
グッド長橋広行
マルタ・ポスコロ・マルキ

1

We really appreciate your work!

2

The starting point

Someone who is looking for some information
usually starts from google

Check if your database can be reached by
google

3

How can a researcher reach your
database? Please help him!

美術
Bijutsu
Art

4

There are also non-Japanese
speaking scholars...

What is a book or an article about? Everybody would appreciate:
本や論文が何についてもものなのか? あれば助かります

- A short abstract in English
• 短い英語のアブストラクト
- Translation in English
• 英訳
- Tags in the pictures
• 画像へのタグ付け

5

Good example for English search:
CiNii articles of National Institute of Informatics
(NII)

6

Please let us prepare our researches at home before coming to you
日本に来る前に準備をさせて下さい

Share information, open the databases



Even without images, because of the copyright
著作権の問題で画像がなくてもいいです

Integration of the databases

The integration of the archives is the best way to help researchers not to waste time in entering and searching in different OPACs - if they know them! - moving from a website to another

統合検索システムが出来れば、研究の速度が上がります

Integration of the databases Union catalogues

Example of museum libraries:

- Art Libraries' Consortium (ALC) (美術図書館横断検索システム)

Examples of museums:

- Union Catalog of the Collections of the National Art Museums, Japan (所蔵作品総合目録検索システム)
- the e-Museum (e国宝)
- the Cultural Heritage Online site (文化遺産オンライン)

Integration of the databases "NDL Search" an integrated search service of catalogs and digital archives

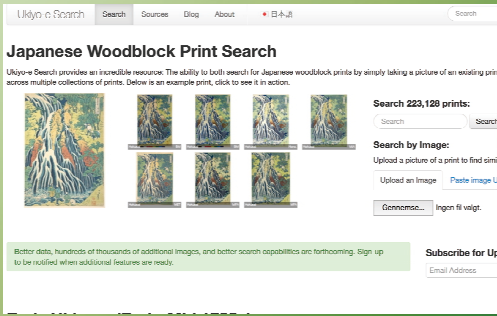
Standards for quality level of the databases データベースの規格を統一

Homogeneity of the quality level データベースの質の均一化

- what basic information you need
必要な情報は何か
- standardize classification
分類の統一
- where to find information
どこに何があるか

Good model for an easy access: Metropolitan Museum of Art, New York & Utagawa Kunisada project

ukiyo-e.org Japanese Woodblock Print Search



13

How to promote databases and digital archives in the museums around the world

世界へプロモーション

International Council of Museums (ICOM)
国際博物館会議

More than 35,000 members
Propose the topic of digitalization to ICOM
Promotion and diffusion of the knowledge of the main topics related to art history

In 2019 ICOM meeting will be in Kyoto
2019年は京都で開催

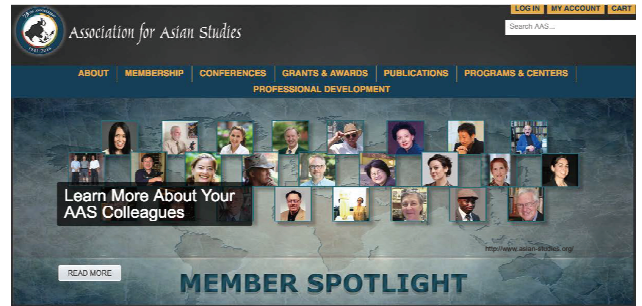
14

Personal Networking



©-thaimoneymaking.blogspot.jp
15

Association of Asian Studies (AAS)
アジア学会



©-Association of Asian Studies
16

Annual Conference of Council of East Asian Libraries (CEAL) and Association of Asian Studies (AAS)
東アジア図書館評議会とアジア学会の年次会議



2017年 カナダ、トロント
CEAL: 3月14-15日 AAS: 3月16-19日



2018年 ワシントンD.C.
CEAL: 3月20-21日 AAS: 3月22-25日



2019年 コロラド州デンバー
CEAL: 3月19-20日 AAS: 3月21-24日

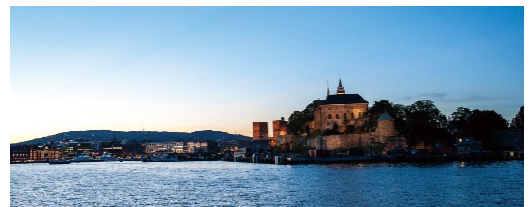
©-Association of Asian Studies

17

European Association of Japanese Resource Specialist (EAJRS)
日本資料専門家欧州協会

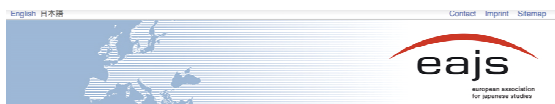
eajrs

ノルウェー、オスロ
2017年9月

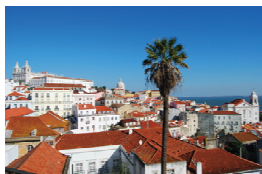


©-Official Travel Guide of Oslo 18

European Association of Japanese Studies (EAJS)
欧州日本学会



ポルトガル、リスボン
2017年8月30日-9月2日



©-Lisbon Portugal Tourist Guide

19

Japanese Studies Association of Australia (JSAA)
豪州日本研究学会



ニューサウスウェールズ州
ウーロンゴン大学
2017年6月26-30日



©-Wikipedia20

Annual Conference of
Council of East Asian Libraries (CEAL) and
Association of Asian Studies (AAS)
東アジア図書館評議会とアジア学会の年次会議



2017 カナダ、トロント
CEAL: 3月14-15日 AAS: 3月16-19日



2018 ワシントン D.C.
CEAL: 3月20-21日 AAS: 3月22-25日



2019 コロラド州デンバー
CEAL: 3月19-20日 AAS: 3月21-24日

©-Association of Asian Studies

21



**Thank
You!!!**

www.thebodytransformation.com

22